

事業実績書

団体名	阿東地域づくり協議会
-----	------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

すべての世代がふるさとへの誇りを持ちみんなでつくる阿東地域

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	高齢者の足の確保等先進地阿武町にデマンド交通の研修視察		
	事業名	阿武町研修視察	決算額	123,405
②	視点	阿東地域の情報、地域づくりの取り組みなど発信した。		
	事業名	広報誌発行	決算額	506,880
③	視点	あそべる楽校開催と大学生との交流を通してふるさとを知る。		
	事業名	あそべる楽校運営と大学生の交流	決算額	150,000

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
交通整備は難しい問題だがなるべく早く問題解決をしたい	△
地域住民にわかりやすい広報誌を発行するよう努めた。	○
阿東地域内外の交流ができた。	○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

コロナ禍も終わり各地域で行事等が開催された。
しかしながら、過疎化、高齢化等により後継者不足により、近い将来実施ができなくなるのでは、という声が上がってきている。

5 事業内容

(1)協議会運営

事業費	8,317,051円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長1人 事務局員9人 (運営費の主な内容)事務局人件費、事務費 (成果・評価) 年間を通じて滞りなく事務局運営をおこなった。 (今後に向けて)地域内はもとより、交流センター及び各機関との連携を強化し、運営体制の充実を図りたい。

(2) 地域振興

事業名	地域づくり計画推進(あそべる楽校運営と大学生との交流)
事業費	150, 000円
事業概要	(目的) 大学生との交流を通してふるさとを知る。 (実施内容) あそべる楽校実施、ふるさとカルタ作成。 (実施時期) 令和5年5月～令和6年3月 (参加人数) 延べ300人 (成果) 阿東地域内外の親子世代の交流が促進された。 (評価) 少子化が進む中、阿東地域の子供たちが安心して遊べるイベントとして大変好評だった。 (今後に向けて) 次年度も引き続きイベントを実施することで、阿東地域外からも子育て世代を呼び込みたい。

事業名	広報活動(あいらぶあとう 地域広報誌発行)
事業費	506, 880円
事業概要	(目的) 地域広報誌あいらぶあとうを発行する。 (実施内容) 地域版広報誌の発行 (実施時期) 令和5年4月～令和6年3月 (参加人数) 2800戸 (成果) 阿東全域に戸別配布した。 (評価) 編集会議を重ね地域の情報を掲載した。 (今後に向けて) より見やすい紙面づくりをめざす。

事業名	地域づくり計画推進(阿武町研修視察)
事業費	123, 405円
事業概要	(目的) 阿武町のデマンド交通を参考に視察をする。 (実施内容) 阿武町役場へデマンド型交通事業の視察 (実施時期) 令和6年2月20日 (参加人数) 20名 (成果) デマンド交通のビデオを見たり役場の方と質疑応答ができた。 (評価) 阿東はJRもバスもタクシーもあるのですぐには困らないが将来の交通手段を考えるきっかけになった。 (今後に向けて) これから免許返納も増えてくるので阿東の交通の方法を探していきたい。

(5)環境づくり

事業名	環境実践事業(JR山口線駅トイレ管理費の補助)
事業費	76,708円
事業概要	(目的)各駅舎のトイレの環境整備。 (実施内容)各駅舎のトイレ清掃、管理の補助。 (実施時期)年間 (参加人数)5駅 (成果)各駅舎の清掃ができ利用者が気持ちよく使えた。 (評価)各駅舎のトイレ清掃により清潔な駅舎は利用者のイメージアップにつながった。 (今後に向けて)清掃を続けきれいなトイレを維持したい。

事業名	環境実践事業(鯉のぼり景観保全事業)
事業費	85,000円
事業概要	(目的)阿武川に架かる鯉のぼり周辺の景観を整備することで地域の魅力と郷土愛を育む。 (実施内容)旧三谷小学校裏の阿武川左岸の竹林の伐採工事。 (実施時期)令和6年3月6日～3月21日 (参加人数)6人 (成果)視界を遮る竹林を伐採したため鯉のぼりがよく見えるようになった。 (評価)旧三谷小学校周辺の景観が再認識されるよいきっかけになった。 (今後に向けて)故郷の風景と地域の人の想いを今後につなげたい。

(6)地域個性創出

事業名	イベント事業(梨とりんごのお花見ピクニック)
事業費	98,388円
事業概要	(目的)梨とりんごのお花見で交流人口の増加、阿東の魅力を知ってもらう (実施内容)梨とりんごのお花見イベントの実施 (実施時期)令和5年4月5日～4月23日 (参加人数)213名 (成果)交流人口の増加、阿東地域のファン、リピーターの増加。 (評価)開花が早かったが、大盛況だった。 (今後に向けて)地域内外のメンバーを増やし賑わいを拡大したい。

事業名	イベント事業(徳佐小学校ふれあいコンサート)
事業費	55, 000円
事業概要	(目的)小学生と地域の方と交流を持ち芸術に触れる。 (実施内容)ふう吉ギターコンサート (実施時期)令和5年6月18日 (参加人数)84名 (成果)芸術鑑賞として有意義な時間を過ごすことができた。 (評価)子供たちや地域の方々とは感動を共感することができた。 (今後に向けて)今後も文化活動を企画し子供たちの情操教育に取り組みたい。

事業名	人材育成(キャンプインあとう)
事業費	100, 000円
事業概要	(目的)阿東の子供と秋穂の子供や地域の人たちとの交流を通して協調性など育てる。 (実施内容)阿東の子供と秋穂の子供たちが1泊2日の活動をする。 (実施時期)令和5年7月22日、23日 (参加人数)38人 (成果)長門峡での川遊び十種ヶ峰青少年自然の家でのピザづくりなど親睦を深めることができた。 (評価)予算がなく開催が危ぶられていたが、交付金を利用し開催できた。 (今後に向けて)今後も阿東の子供たちのために開催できるよう努力していきたい。

事業名	人材育成(人権講演会)
事業費	50, 000円
事業概要	(目的)障害への理解を深め、個性を伸ばす大切さについて聞く。 (実施内容)大橋広宣氏による人権に関する講演会。 (実施時期)令和5年11月10日 (参加人数)90人 (成果)小学生、中高校生、保護者が聞けて良かった。 (評価)大変有意義で貴重な講演会になった。 (今後に向けて)子供たちが講演を聞いて学んだことをこれからの生活の中で生かせるようにしていく。

事業名	人材育成(新成人記念品贈呈)
事業費	159, 447円
事業概要	(目的)少子高齢化の中、阿東を離れた新成人の方に故郷を思い出してもらうため。 (実施内容)阿東の特産品を送った。 (実施時期)令和5年12月～令和6年2月19日 (参加人数)28人 (成果)35人中28人から申し込みがあった。 (評価)新成人やご両親から謝意の電話があった。 (今後に向けて)新成人のほとんどが市外居住で阿東地域の情報提供の一助になった。

篠生地域づくり協議会事業実績書

事業名	地域とともに篠生ふれあいコンサート
事業費	63,240 円
事業概要	(事業の目的) 新しくなった篠生分館の機能等を住民のみなさんに知ってもらうと共にふれあいコンサートを通して交流する。 (事業内容) しろくま樂團によるコンサートを開催し、生の音楽の魅力をジャズ・歌謡曲等幅広い音楽で提供しふれあいながら楽しんでもらう。 また、チラシを作成し篠生地区に全戸配布する。 (実施時期) 4月13日(木) (参加人数) 約80名 (成果) たくさんの方にご来場いただき、ふれあいながら楽しい時間を過ごすことができた。 (評価) たくさんの方の笑い声を聞くことができ、笑顔を見ることができてよかった。 (今後に向けて) これからも「来てよかった」「楽しかった」と思えるような、みんなを笑顔にできるような事業を検討していきたい。

事業名	第31回篠生史跡めぐり
事業費	24,638 円
事業概要	(事業の目的) 過去の歴史を知り、今日の我々の生活と、当時の生活や仕事の関わり等について皆で学習・体験することで、知識や意識を相互に高め合い参加した者同士の親睦を図る。 (事業内容) 講師の先生に資料を作成してもらい、当日参加者へ通行手形と一緒に配布した。 また、当日は史跡の説明も行ってもらった。旧篠目小学校グラウンドに朝8時30分に集合し、細野・中郷・上中郷・文珠自治会の史跡を約3時間歩いて巡り昼食には篠生婦人会のみなさんにおむすび弁当を作っていただいた。 (実施時期) 6月3日(土) (参加人数) 約60名 (成果) 史跡の由来などを勉強することができた。 (評価) 篠生地区のみではなく、他地区の方にも参加してもらい、篠生の史跡を知ってもらうことができた。 (今後に向けて) これからも伝統ある史跡めぐりを続けていきたい。

事業名	長門峡・篠生関係人口創出プロジェクト
事業費	50,000 円
事業概要	(事業の目的) 地域住民の繋がりや魅力を発見・発信し、人口増加と活性化を図る。 (事業内容) 検討会(会員の親睦や学習会を行う)、探訪会(地域の良いものの探しを行う)交流イベント(アート・マルシェ・作品展示・クラフト・リフレッシュ体験等)会報誌発行・情報発信、振り返りの会(評価→次回へ繋げる計画) (実施時期) 令和5年4月～令和6年3月 (参加人数) 約700名 (成果) 地域の魅力を再認識・発見でき参加者同士の繋がりができた。 地域活性化の可能性や方向性が見えた。 (評価) 多彩な世代で活動したことで、新たな特性が発見でき、幅広い住民の繋がりが強化された。地域の活性化が図られ、今後の活動が期待できる。 (今後に向けて) 令和6年度は事業拡大と新規事業を行う。

事業名	篠生地区敬老会
事業費	45,100 円
事業概要	(事業の目的) 篠生地区敬老会にて、多くの方に参加していただくために送迎のためにバスを使用する。 (事業内容) 篠生地区敬老会にて、バスを使用し、参加者の送迎を行う。 (実施時期) 10月4日(水) (参加人数) 89名 (成果) バスの送迎があるため、参加してみようと言う方もいた。 (評価) 高齢化等で免許返納する方も年々増えているように感じるが、今回、バスで送迎を行うことで参加者の増加につながった気がする。 (今後に向けて) これから高齢化、免許返納者が増えると思うので、バスで送迎できたら良いと思う。

事業名	長門峡もみじ祭事前景観整備作業
事業費	6,723 円
事業概要	(事業の目的) 11月3日に開催される長門峡もみじ祭の前に長門峡周辺の草刈り等を行い景観をよくする。 (事業内容) 毎年11月3日に開催される長門峡もみじ祭の前に祭会場周辺の清掃活動を行っており、草刈り・草取り等を行った。 (実施時期) 10月22日(日) (参加人数) 約50名 (成果) 草刈り・草取りを行ったことで景観がよくなった。 (評価) のびていた草を取ったり、刈ったりしたことで景観がよくなり、歩きやすくなった。また、駐車スペースが広がった。 (今後に向けて) これからもお祭の前や紅葉シーズン前に清掃活動を続けていきたい。

事業名	長門峡もみじ祭
事業費	200,000 円
事業概要	(事業の目的) 子どもから大人まで多くのお客様がいらっしゃる長門峡もみじ祭で長門峡のPRを行い、お客様に「また来たい」と思ってもらえるようなお祭にする。 (事業内容) 祭関係者は法被を着用し、祭の雰囲気盛り上げる。 開会式では、テープカットを行い、地元のあとう夢語太鼓のみなさんにオープニング演奏を披露してもらい、地元の特産品や弁当の販売を行った。 また、祭開催を多くの方へ周知するために、チラシを作成し新聞折込を行った。 サンデー山口にも広告を掲載した。 (実施時期) 11月3日(金・祝) (参加人数) 約3000人 (成果) 県内、県外から多くの方にお越しいただいた。 (評価) 地元特産品をPRすることができた。 (今後に向けて) 今年で42回目を迎えたが、物価高騰等で思っていた以上に支出が増えてしまった。来年度への繰越金も少ないので、今後、資金をどうやって調達するかが問題となりそうだが続けて開催していきたい。

事業名	長門峡カフェ&溪谷てくてくウォーク
事業費	60,000 円
事業概要	(事業の目的) 長門峡カフェ…長門峡溪谷入口において観光客が休憩する場所なく臨時の休憩所を設け、喉の乾きでも癒してもらえたらと考えた。 溪谷てくてくウォーク…初夏の長門峡溪谷を半日かけ散策することで自然の空気や安らぎを味わっていただきたい。 (事業内容) 長門峡カフェ…11月3日の長門峡もみじ祭で観光客へのおもてなしとし無料で飲み物を提供。市内の中学生へ声掛けし連携して行う。 溪谷てくてくウォーク…JR長門峡駅に集合し、長門峡溪谷内の案内を聞きながら散策。参加者には通行手形を配布。 (実施時期) 長門峡カフェ 11月3日(金・祝)、溪谷てくてくウォーク 6月10日(土) (参加人数) 長門峡カフェ 約500人、溪谷てくてくウォーク 25人 (成果) 長門峡カフェでは、思っていた以上の方にご利用いただき大盛況だった。 溪谷てくてくウォークでは、国の名勝指定から100周年を迎えた長門峡の魅力を知ってもらうことができた。 (評価) 多くの方に長門峡の魅力を感じてもらうことができた。 (今後に向けて) どちらも継続して行っていきたい。

事業名	地域の仲間と交流&活性化の研修の旅
事業費	70,000 円
事業概要	(事業の目的) 自然や歴史文化に接する活動を通して、篠生の仲間との交流を深める場を提供する。 (事業内容) 当初は宮島方面を企画したが、関門海峡へ変更。チラシを配布し篠生地区全員に周知徹底を図った。分館、地域づくり協議会、婦人会及び寿会等が共催団体となり篠生地域一体の交流の旅となった。 (実施時期) 12月6日(水) (参加人数) 37名 (成果) 参加者の一体感が生まれ、笑顔と和やかな雰囲気であった。 (評価) 共催事業としたことで各団体に対しての理解と認識を高めることができた。 (今後に向けて) 地域の皆さんの期待に応え、年1回程度は地域の交流機会として提供していきたい。 研修視察旅行・体力増強、健康づくり旅行・自然や歴史、文化研鑽視察旅行等を積極的に企画し地域活性化につなげたい。

事業名	地域を明るく照らすイルミネーション
事業費	40,000 円
事業概要	(事業の目的) 地域課題の解決並びに地域の振興を図り、地域活動の活性化に資する。 (事業内容) 昨年より少し派手に装飾取付したい。イルミネーションの増設、帰省客等へのふるさと思い出づくり、榎谷・渡川・築地の有志によるボランティア事業等。 (実施時期) 12月15日～1月10日の27日間 (参加人数) 19名 (成果) 昨年の骨組みを保管維持していたため飾り付けをスムーズ行えた。 ポスターやLINE等を活用することで幅広くPR出来、強い反響と感心を得た。 (評価) 2年目のイルミネーションは好評を得ている。 (今後に向けて) 地域活性化と共に一人一人の心に元気を与える光としていきたい。

事業名	長門峡美観事業・門松づくり
事業費	60,504 円
事業概要	(事業の目的) 長門峡美観事業…国道9号線沿いの景観をよくする。 門松づくり…幅広い年齢層での交流により、笑顔を作り元気になってもらう。 (事業内容) 長門峡美観事業…国道9号線沿いの方面の下の平地に花を植栽する。 門松づくり…子供から大人まで幅広い世代の方に参加してもらう。 (実施時期) 6月24日、8月18日、12月17日 (参加人数) 約40名 (成果) 長門峡美観事業…景観をよくすることができた。 門松づくり…立派な門松を飾ることができた。 (評価) 長門峡美観事業…景観は良くなったが、植栽地前が駐車場という関係で見えづらく気づいてもらえなかった。 門松づくり…多世代と交流でき親睦が深まった。 (今後に向けて) これからも地域の方の協力を得て、地域の方の知識を活かした事業を行っていきたい。

事業名	防災研修会
事業費	5,666 円
事業概要	(事業の目的) 地域全体で防災意識を高めていく。 (事業内容) 講師を招いて研修会を開き、防災活動の大切さを学んでいただく。 (実施時期) 令和6年2月17日(土) (参加人数) 約30名 (成果) 受講で得られた知識を基に地域内の防災活動の必要性が再確認できた。 (評価) 大変良かった。 (今後に向けて) さらに多くの方々を対象に研修を実施し、防災活動の必要性を訴えていく。

事業名	地域環境保全事業(美しい郷づくり)
事業費	30,000 円
事業概要	(事業の目的) 自治会住民の親睦を深める。四季の花々で景観を良くし、阿東のイメージアップを図る。 (事業内容) 花壇(ブロック)の設置や花の植付け等 (実施時期) 令和5年8月1日～令和6年2月27日 (参加人数) 延べ27名 (成果) 花壇とサクラの植栽作業を通して自治会住民の親睦及び環境整備の意識が高まった。 集会所前広場に憩いの場とシンボルツリーが設置された。 観光客を四季の花でお迎えすることで阿東のイメージアップにもつながる。 (評価) 自治会員に環境美化の意識づけができ、同時に環境整備の意識も高まった。 (今後に向けて) 会員が共同で水やり等の管理をしていく。四季を通し、季節の花を植え替える。 憩いの場としてベンチ等の設置を行いたい。

事業名	阿東クエストVOL長門峡編
事業費	200,000 円
事業概要	(事業の目的) 長門峡を物語風にわかりやすくドローンをメインに撮映・紹介する。 (事業内容) 太古の歴史から入っていく、現在の長門峡駅に停まるSLから始まり、遊歩道と溪流で楽しむ人達を映していく。 キャラクター(オー:オオサンショウウオとアヤ:阿東に来た子供)の語りで長門峡全体の素晴らしさを表現する。 (実施時期) 令和6年以降 (参加人数) 多数 (成果) 多くの人に興味を持って頂き、長門峡へ足を運べない方にも、DVDにすることで素晴らしさを伝え広げることができる。 (評価) 開けた渓谷・溪流に沿った遊歩道、その美しさがドローン映像で素晴らしいものとなった。 (今後に向けて) このDVDを阿東のホームページに入れていただき、多くの人が見られるようにする。 阿東の小中学校に配り、地域の誇りを見てもらう。

事業名	山口線でつながろう！フェスタ
事業費	7,144 円
事業概要	(事業の目的) 山口線全線開通100周年を祝い、篠目駅前広場にて山口線に関わる歴史と文学鉄道ファンと地元の人達とのつながりを知ってさらに交流を深めていく。 (事業内容) 山口線開通100周年祝いをかねて山口線にかかわる事故や扁額などに関する氏原大作が書いた「花の木鉄道」の読み聞かせ、鉄道OBや撮り鉄による山口線の交流。バイオリニスト平野郁乃さんによる鉄道に関する曲の演奏。 (実施時期) 7月1日 (参加人数) 70名 (成果) 地元の人達をはじめ鉄道ファン、文学ファン、音楽ファンなど約70名程度の参加がありました。ケーブルテレビ、山口新聞、中国新聞など取材に来られてケーブルテレビでは「まちかどニュース」で計6回放映されました。 (評価) 山口線にまつわる歴史や文学など新しい発見がありました。 地元の人達と撮り鉄さんとの交流は山口線を守っていく上で大きな力になると思います。最後のバイオリン演奏は会場をひとつにまとめ、皆さん楽しい雰囲気で行われることができました。 (今後に向けて) 今後にも繋がっていく要素が多くあり、山口線の活性化と地域の活性化を連繋させていく案もでていました。

生雲地域づくり協議会事業実績書

事業名	生雲ふれあいフェスタ
事業費	100,000円
事業概要	(実施目的) 地域最大のイベントとして、交流とふれあいを深める。保育園児・小学校児童・中学校生徒の学習活動や、諸グループの活動の発表の機会、文化活動などを鑑賞して、生涯学習の推進に資する。 (実施内容) 小学生や地元有志の発表、警察音楽隊の演奏 各種団体のバザーや、中学生、諸グループの作品展示 (実施時期) 令和5年6月4日 (参加人数) 約200人 (成果) 4年ぶりの開催となり、多くの方と交流しふれあいが深まった。 小学生・中学生・諸グループの発表する場となった。 (評価) バザーも前回通り出店していただき、多くの方が参加し成功に終わったと思う。駐車場係りは、午前午後に分けて良かった。 (今後に向けて) スタッフは多くいるので、分担し時間交代など改善が必要。 外でバザーを行う方が、ステージでの進行状況が分からないため放送などこまめに行うといい。

事業名	七夕まつり
事業費	29,884円
事業概要	(実施目的) 地区民の交流、生雲地区を盛り上げていく (実施内容) 協力団体・施設に七夕飾りを作って飾ってもらう。 短冊等を設置し、願い事を書いてもらう (実施時期) 令和5年8月14日(月) (参加人数) 約20人 (成果) 笹を9本飾り、地域の施設・団体に手伝ってもらえた。 (評価) サマーナイトフェスタに合わせ、8月14日近辺で飾ることができ、帰省した方にも喜んでもらえた。 (今後に向けて) 毎年のイベント開催は難しくても、七夕飾り等は毎年継続して行っていきたい。

事業名	生雲サマーナイトフェスタ
事業費	50,000円
事業概要	(実施目的) 夏の祭典として、地域の活性化に寄与する。帰省客と家族、地域住民のふれあいの場として意義も大きい。 (実施内容) バザー、花火大会、盆踊り（生雲開発倶楽部） (実施時期) 令和5年8月14日（月） (参加人数) 約1000人 (成果) 帰省客、周辺地区からの見物客でにぎわった。 ビアガーデン・焼き鳥等も多くの方に購入していただいた。 (評価) 途中雨も降ったが、夜市や盆踊りなど行い、花火の時間帯には大勢の方があつまり楽しんでいただけた。久しぶりの開催で、例年以上の人がいたと思う。 (今後に向けて) イベント内容に若い人たちも楽しめるものを盛り込みたい。

事業名	生雲地区盆踊り大会
事業費	30,000円
事業概要	(実施目的) サマーナイトフェスタと一緒に、帰省した人や他地区の人が、長く伝わる踊りや阿東の曲などを輪になって踊り、交流することで連帯感ができ、故郷への愛着が生まれることを目的とする。 (実施内容) 盆踊りをし、踊ってくれた子どもさんに、お菓子や花火が当たる、くじ引きと、ヨーヨー釣りを行った。 (実施時期) 令和5年8月14日（月） (参加人数) 約80人 (成果) たくさん子どもたちや帰省した家族が参加された。 (評価) 会場の飾りつけなど、喜んでもらえた。 (今後に向けて) 継続して行いたい。

事業名	祭りを盛り上げよう
事業費	30,000円
事業概要	(実施目的) 伝承されている行事を盛り上げ地域の活性化に寄与する。 (実施内容) 4年ぶりに開催することができ、スタンプラリー・フリーマーケット・子どもの遊び場・地元野菜の販売もした。キッチンカー・トイトイなどその他団体も販売してもらえた。 (実施時期) 令和5年10月1日(日) (参加人数) 300人 (成果) 多くの観光客がいて、秋祭りも盛り上がったと思う。あとう夢太鼓が中止になったのは残念だが、子どもの遊び場には、たくさん子どもたちが集まっていた。 (評価) もっと盛り上げるためには、スタッフの増員が必要だと思う。写真展には入りやすいような工夫がある。暑かったため、休憩所にテントが必要だった。 (今後に向けて) 毎年、出店していきたい。アンケートを取ってみるのもいいのでは?ほかのイベントでも希望があれば出店したい。

事業名	桜の園
事業費	92,015円
事業概要	(実施目的) 地域の景観を保全し、憩いの場となることを目的とする。 (実施内容) 桜の維持、周辺環境整備。肥料の散布。ぼんぼり設置。桜の園周辺に、コケなどの菌がついている為、剪定・消毒を業者にお願いした。 (実施時期) 令和4年6月、8月、令和5年2月、3月 (参加人数) 約150人 (成果) 毎年春、桜が満開になり、地域景観を向上している。 (評価) 花見の時期に見学者が増加してる。 (今後に向けて) 見学者を増やし、ゆっくり桜を見れる場所を作りたい。

事業名	読み聞かせ活動
事業費	19,835円
事業概要	(実施目的) 絵本の読み聞かせやペープサートを通しておはなしの楽しさを体験してもらう。 (実施内容) 絵本の読み聞かせやペープサート、絵本の貸し出し (実施時期) 毎月1回保育園・小学校へ読み聞かせ (参加人数) 毎月 約20人程度 (成果) 熱心に読み聞かせを聞いてくれ、生雲分館の絵本も利用してくれた。 (評価) 子どもたちが絵本に触れる機会が増え、関心も高まったと思う。新しく絵本等購入できたのでよかった。 (今後に向けて) 読み聞かせは継続して定期的に行っていきたい。

事業名	くもたんハウス支援事業
事業費	75,243円
事業概要	(実施目的) バスの本数が少ないが、待つところがないため、ゆっくり待機できる場所、または交流の場をつくりたい (実施内容) クリスマスにはイルミネーションを取り付けた。 (実施時期) 12月 (参加人数) 40人 (成果) 利用者も少し増え、休日は子どもたちも利用し遊んでいる (評価) 少しずつだが、利用者も増えている。 (今後に向けて) 多くの方が利用し、交流する場になればいい。

事業名	自主防災
事業費	39,657円
事業概要	(実施目的) 生雲地区民の協働で自主防災活動を促進する。 (実施内容) 自主防災組織の会議や避難訓練等は中止。除雪機での除雪作業なし 非常用保存食の購入 (実施時期) 令和5年度 (参加人数) (成果) 保存食の購入で、災害にそなえる。避難訓練などの際に使用。 (評価) 継続して、災害にそなえることができる (今後に向けて) 今年度は避難訓練ができなかったが、自治会も積極的に参加したい。除雪作業も継続していきたい。

事業名	地区民みんなで清掃活動
事業費	34,756円
事業概要	(実施目的) 地区民が日常的に使用している生雲小学校周辺の清掃ボランティア (実施内容) 環境衛生自治会と連携しての生雲小学校運動場や旧校舎跡地等、 公用地の除草・草刈作業を通して学校を支援 (実施時期) 令和5年6月11日(日)、8月20日(日) (参加人数) 約160人 (成果) たくさんの方に参加いただき、学校周辺を綺麗にすることが出来た。 (評価) 地域の方より車を出し、草の回収をしたので早くできた。 (今後に向けて) 高齢化が進み参加者も高齢の方が多いが、継続していくためにも 若い世代の参加を増やしていきたい。剪定する人を増やすべき。

事業名	きもだめし大会
事業費	15,000円
事業概要	(実施目的) 今の子どもたちは明るい場所で生活しているため、暗闇や自然を感じてほしい。コミュニケーションを深めてもらう。 (実施内容) きもだめし、カレーの配布、DVD鑑賞 (実施時期) 令和5年7月15日(土) (参加人数) 140名 (成果) 5年ぶりのきもだめし大会で、生雲地区以外からの参加者も多かった。生雲地区の保護者や地域の方など、お手伝いしていただき無事終わることができた。 (評価) ランタンを新しくし、子どもたちには光リングを付けたのがよかった。楽しかったという声もあった。 (今後に向けて) 来年も続けたい。

事業名	秋祭り子どもみこし
事業費	15,000円
事業概要	(実施目的) 地域固有の文化や、伝承されている行事の意義や価値について学び、体験することによってふるさと「生雲」を愛する心を培う。 (実施内容) 生雲八幡宮秋季例大祭に合わせ、「こどもみこし」を行う。 (実施時期) 令和5年10月1日(日) (参加人数) 41人 (成果) 多くの子どもや保護者に参加していただき、盛大におみこしが練り歩いた (評価) 他地区からの参加もあり、生雲を知ってもらえるいい機会となった。 (今後に向けて) 継続して行っていきたい。

事業名	秋祭り奴道中・花車巡業
事業費	60,000円
事業概要	(実施目的) 秋祭りを盛り上げ、山口市指定民俗文化財である「生雲奴道中」、集落主催の「花ぐるま」を継承・保存していく。 (実施内容) 花ぐるまの準備をし、踊り子さんを乗せ巡行する。奴道中の練習をし、当日練り歩く。 (実施時期) 令和5年9月30日(土)、10月1日(日) (参加人数) 約70名 (成果) 地域の交流の機会となった。 (評価) 若者の集いの場になり、新たに参加する人が増えた。 (今後に向けて) 地域の活性化に繋がるように活動する。

事業名	新春交流会
事業費	30,000円
事業概要	(実施目的) 地元の人や帰省した人が、一緒に新年を迎え、おしるこを食べたり、くじを引いたりして交流することで連帯感ができ、故郷への愛着が生まれることが目的。 (実施内容) 新春へのカウントダウン、くす玉割、富くじ、おしるこ配布。 (実施時期) 令和5年12月31日(日)～令和6年1月1日(月) (参加人数) 約80人 (成果) 4年ぶりの開催で、朝からの雨、人手が心配だったが、地元の方やたくさんの帰省の家族が参加されにぎやかな交流会となった。 (評価) お手伝い等も、多くの方に来てもらえた。 (今後に向けて) 恒例行事となるよう、継続して行っていきたい。

事業名	生雲どんどこ2024
事業費	10,801円
事業概要	(実施目的) 地域の行事を体験・継承し、交流を深め、青少年の育成につなげる。 (実施内容) 生雲小学校6年生5名がたいまつを持ち、新年の誓いを述べた後、点火しました。その後、オリジナル羽子板作りをし、昔遊びを楽しみました。 (実施時期) 令和6年1月14日(土) (参加人数) 約40名 (成果) 事前にお飾りもたくさん集まり、当日も参加者が多かった。羽子板で遊ぶのもたのしそうだった。 (評価) どんどこ焼きを行う事が出来てよかった。 (今後に向けて) 子どもに人数が減り、活動自体も縮小していくが、これからも、どんどこ焼きを継承していきたい。

地福地域づくり協議会事業実績書

事業名	自治会連合会活動の充実
事業費	150,000 円
事業概要	(実施内容) 自治会間のつながりづくり (実施時期) 令和 5 年 1 0 月 (参加人数) 約 5 0 名 (成果) 敬老事業にあわせて花を植え、高齢者を楽しませることができた。 (評価) 花植えの作業を通じて自治会間の連携や中学生との交流ができた。 (今後に向けて) 独居高齢者が増加する中で地域コミュニティによる見守りを強化していく必要があると考えている。

事業名	関係人口創出の取り組み
事業費	20,000 円
事業概要	(実施内容) 地域外の方に対し地域の取り組みを体験する機会を創出した (実施時期) 令和 5 年 1 2 月 (参加人数) 12 名 (成果) 地域での活動を体験してもらうことで、興味を持ってもらうことができた。 (評価) 人口が減少する中で、関係人口創出の事業は重要だと感じた。 (今後に向けて) 阿東地域に興味をもってもらうことで将来的な移住につなげたいと考えている。

事業名	持続可能な地域づくり&地域文化を通じたコミュニティづくり
事業費	50,000 円、60,000 円
事業概要	(実施内容) ほほえみの郷トイトイ感謝祭としだれ桜フェスタを共同開催した。 (実施時期) 令和 5 年 4 月 (参加人数) 70 名 (成果) 地域の生活を守るほほえみの郷トイトイの感謝祭としだれ桜フェスタを同時開催することで、より多くの住民が集う機会となった。 (評価) 地域コミュニティを充実していくことで、人口減少高齢化に対応した地域づくりにつなげていきたいと考えている。 (今後に向けて) 今後も地域住民の交流の機会として継続していきたい。

事業名	地域で支える青少年健全育成
事業費	20,000 円
事業概要	(実施内容) 小中学生向けに地域マップの作成と配布を実施した。 (実施時期) 令和 5 年 9 月 (参加人数) 70 名 (成果) 小中学生が地域で安全に生活する情報提供ができた。 (評価) 地域で子供を育てる環境づくりにつながった。 (今後に向けて) 地域の子供たちにふるさとの良さを伝えていきたいと考えている。

事業名	地域行事を通じた人材育成・地域の誇りとなるイベントの継続
事業費	250,000 円
事業概要	(実施内容) 30 周年を迎えたクリスマスナイトフェスティバルが継続できるよう電球を購入した。 (実施時期) 令和 5 年 1 2 月 (参加人数) 2 0 0 名 (成果) 地域の冬のシンボルとなったイベントを実施することで、地域住民の誇りにつながった。 (評価) 地域を離れた若者に年末年始の帰省時に故郷を思い出してもらうことができた。 (今後に向けて) 今後も地域住民の交流の機会として継続していきたい。

事業名	大学生との協働事業
事業費	60,000 円
事業概要	(実施内容) 大学生のアイデアで地域の良さを再認識するためのカルタを制作した。 (実施時期) 令和 6 年 2 月 (参加人数) 20 名 (成果) 高齢者と子供の接点となるツールとしてカルタを制作することができた。 (評価) 地域住民にとってふるさとの良さを再認識する機会となった。 (今後に向けて) 学校をはじめいろいろな場面で活用していきたい。

事業名	高齢者の交流の場づくり
事業費	30,000 円
事業概要	(実施内容) なつかしい童謡のコンサートを実施した。 (実施時期) 令和 5 年 10 月 (参加人数) 20 名 (成果) 高齢者をはじめ参加者が交流できる機会となった。 (評価) 童謡を通じて高齢者の方々に楽しみの機会をつくることができた。 (今後に向けて) 今後も高齢者の方々に楽しみをつくっていきたい。

徳佐地域づくり協議会事業実績書

(1) 地域振興

事業名	広報活動(とくさだより)
事業費	60,000円
事業概要	(目的)地域の人に地域づくりの活動を報告する。 (実施内容)徳佐の広報誌を10回発行した。 (参加人数)1,021世帯 (成果)徳佐地区全戸に配布した。 (評価)徳佐地区の住民に情報提供できた。 (今後に向けて)より分かりやすく地域の情報を伝えられたらいいと思う。

(2) 地域福祉

事業名	高齢者福祉(福祉的まちづくりを考える会)
事業費	44,000円
事業概要	(目的)学習的・研修的・実践的活動を通じて、この地域全体の福祉的生活の工場を目指す。 (実施内容)新型コロナウイルス感染症により、今年度も福まち集会は自粛したが、会員同士の自主的活動として(ひさの屋活動)野菜作りを通して障がい者とその家族と交流を図った。 福まち会として伝えたい事をDVDに作成し、出前講座として各地区で放送し、月に一度一人暮らし高齢者を対象に集まる場を提供しお喋りを楽しんでもらった。 (実施時期)令和5年4月～令和6年3月 (参加人数)240人 (成果)観る、喋る(意見交換)、考える、笑う場の提供ができた。また参加者が日常の困りごとを人ごとではなく自分ごととして捉え、今後もこの地域で楽しく暮らし続けていくことを考える機会となりつつある。 (評価)コロナ禍を理由に活動が途絶える事なく行えた。地域住民から出前講座の声がかかるようになった。一人暮らし高齢者の孤独の解消ニーズが把握でき、今後提供できることは何か検討するきっかけになった。 (今後に向けて)高齢者や障がい者を含む地域住民がこの地域で暮らし続けて行く為の新しい関係の構築、再構築を目指していく。

事業名	三世代交流会(徳佐婦人会)
事業費	64,662円
事業概要	(目的)保育園児から地域の高齢者の交流を目的とした。 (実施内容)世代間の交流で、楽しい時間を過ごす。 (実施時期)令和5年7月4日 (参加人数)91人 (成果)久しぶりの開催で参加者も多く、皆さんに喜んでもらえた。 (評価)今後も継続して欲しいという声が多い。 (今後に向けて)三世代交流はお互いのパワーをもらった。男性の参加者が少ないのが課題である。

(3) 地域個性創出

事業名	クリスマス会(徳佐子ども会)
事業費	30,000円
事業概要	(目的)徳佐子ども会の親睦をはかる。 (実施内容)クリスマス会を計画し、会場準備、昼食準備、ゲーム等みんなで協力し、親睦をはかる。 (実施時期)令和5年12月16日 (参加人数)23人 (成果)自分達で計画してクリスマス会ができ、会員同士の親睦をはかることができた。 (評価)次につながる活動ができたことで、自信にもつながり、子ども会の発展、継続に繋がると思う。 (今後に向けて)子ども達の意見、要望を聞きながら、楽しい活動を続けていきたい。

事業名	ヤマシャクまつり(ヤマシャク祭実行委員会)
事業費	50,000円
事業概要	(目的)十種ヶ峰のヤマシャクヤクを見に来る登山客をもてなす。 (実施内容)仮設トイレの追加設置 (実施時期)令和5年4月10日～7月4日 (参加人数)2,500人 (成果)登山者用に神角八幡宮境内にトイレを1基設置しているがヤマシャクの開花時期には一度に多くの人 が訪れトイレが込み合い、期間中にトイレを追加設置した。 (評価)トイレを設置する事により、茂みで用を足すこともなく集落における環境衛生面でも評価できた。 (今後に向けて)今後も継続して美化活動を登山客の利便性を図る。

事業名	伝統行事等の継承(どんど焼き)
事業費	20,000円
事業概要	(目的)正月の伝統行事の継承 (実施内容)お正月の伝統行事として行われているどんど焼きを行う。 (実施時期)令和6年1月12日 (参加人数)100人、お飾り委託100名以上 (成果)地域、行政、学校関係と共に連携してどんど焼きを行うことができ、三世代間の交流を行う事ができ、 今年から準備段階から子ども達に参加してもらい深くかかわってもらえた。 (評価)個人での焚火が難しい中、お飾りを焚き上げるいい機会である。 コロナ禍の中で、数少ない貴重な行事であった、配慮に感謝。多くの方が参加、活躍できる場の行事であり、 学校関係や地域の方からは概ね好評を頂いている。 (今後に向けて)お正月の伝統行事として来年以降も続けて行きたい。次年度からも子ども達に準備から参加 してもらい心に残る伝統行事として醸成していきたい。

事業名	市川はたるの会
事業費	130,000円
事業概要	(目的)市川はたる保護のため、市川周辺の環境整備を継続的に行うことで、地域住民や高齢者のみならず 一般の方のほうがコミュニケーションの場としてされる、又ウォーキングコースにする。 (実施内容)年間を通して竹や木の伐採、草刈り作業、ウォーキングコースに真砂土を入れる。 (実施時期)令和5年3月27日～12月11日 (参加人数)72人 (成果)計画通り年6回の環境整備をすることによって綺麗な状態を保持することができた。 (評価)地域住民の方から「歩きやすくなった」「綺麗になった」と多くの評価をいただいた。 (今後に向けて)活動範囲が広く、この活動を継続的に行うためには会員を増やし、地域住民の方の憩いの 場となるようもっとアイデアを出し取り組んでいきたいと思う。

事業名	シダレザクラ保護事業
事業費	100,000円
事業概要	(目的)少子高齢化の中、集落間での活動の一環とした花壇を設置し潤いのある集落を目指す。 (実施内容)腐食している老木を保護剤等で処置する。また、支柱で補強し桜の活力増進を行う。 (実施時期)令和6年3月1日 (参加人数)4名 (成果)適切な処置を行うことで、地域のシオンボルである桜の保護活動ができた。 (評価)桜の開花に間に合うことができた。 (今後に向けて)自治会住民の憩いの場として、さらに環境整備を行う。

事業名	徳佐夏祭り
事業費	100, 000円
事業概要	(目的) 故郷の楽しい思い出作り (実施内容) 地域住民の交流(盆踊り、屋台、ゲーム、ステージイベント他。) (実施時期) 令和5年8月15日 (参加人数) 100名 (成果) 帰省客を含め、多くの方が来場してくれた。 (評価) 楽しかった、よかったという声が多数きけた。 (今後に向けて) 来年も開催したいと思う。

事業名	福祉交流会
事業費	41, 554円
事業概要	(目的) アカシア工房と婦人会の交流会 (実施内容) 一緒にゲームをしたり、食事をして交流を深める。 (実施時期) 令和6年3月1日 (参加人数) 25名 (成果) 交流ができて楽しむことができた。 (評価) アカシア工房の人も楽しむことができて、良かった。 (今後に向けて) 継続して来年も開催したいと思う。

嘉年地域づくり協議会事業実績書

(1) 地域振興

事業名	嘉年ホテル観賞会
事業費	60,000
事業概要	(実施内容) 準備 6月16日 会場ステージ作り 観賞ウィーク 6月17日 ホテル観賞会 (実施時期) 令和5年6月17日 (参加人数) 延べ50人 (成果) ・今年は「水出の泉」以外の場所でも非常にたくさんのホテルが飛び交っていた。地元の高校の吹奏楽部の演奏会や婦人会の「お汁粉」やキッチンカー等で来場者に喜んでいただけた。 (評価) 予想を上回る来場があり、大変好評だった。 (今後に向けて) 今後は場所等検討していかなければならない時期に来ていられると思われる。梅雨時期の開催であるという事を考慮して検討を重ね内容を充実していきたい。
事業名	若者支援事業（生き物観察会）
事業費	4,087円
事業概要	(実施内容) 受付・検温・健康チェック (1) アメリカザリガニの捕獲 (2) 水辺で生き物の捕獲 (3) 生き物の観察、種類分けと専門家による解説 (4) みんなでビオトープづくり (実施時期) 令和5年7月27日（木）現地草刈り作業計4名 令和5年7月29日（土）8:30～11:30 (参加人数) 35人 (成果) 天候も良く、参加した親子は、自らの手で生き物を捕獲、観察し、思い出に残る観察会となった。 また、専門家の解説を聞き、外来生物（アメリカザリガニ）の影響や、生き物の生態について知り、ビオトープを作ることで環境を守るという事を学んだ。 (評価) 生き物の生態を調査、観察することで、楽しみながら子供達の環境学習の一助となる事がわかった。 (今後に向けて) 今後も継続して、調査、観察をしていきたい。

事業名	広報活動
事業費	10,000円
事業概要	(実施内容) 協議会だより発行 No.29 No.30 (嘉年地区全戸配布) No.30・No.31・No.32 は阿東観光協会ホームページに掲載した。 *イルミネーション事業のチラシを山口市ラインに掲載した。 (実施時期) 6月・12月 (参加人員) (成果) 活動内容を掲載する事で地域に情報提供することが出来た。 (評価) 情報発信することで嘉年地区内外の皆さんに関心を持っていただけた。 (今後に向けて) 今後も情報発信や意見収集のため広報紙を発行するとともに嘉年地域のPRをしていきたい。
事業名	イルミネーション事業
事業費	70,000円
事業概要	(実施内容) 分館周辺をイルミネーションで飾りつけた。 (実施時期) ・ 取り付け 令和5年11月25日 9:00~12:00 11月26日 9:00~16:00 ・ 点灯式&イルミネーションを見ようかいネ」 令和5年12月9日 18:00~20:30 ・ 点灯期間 令和5年12月9日~令和6年1月20日 ・ 取り外し 令和6年1月21日・28日 (参加人数) 延べ118人 (成果) 嘉年地区は過疎化が進み、夜の外灯もあまりない。そのような状況の中、嘉年の中心地にイルミネーションを飾りつける事で住民の皆さんに安心感と癒しを提供することができた。 今年は、電球も増え一段と素敵なお光となった。点灯式の日には4年ぶりに「イルミネーションを見ようかいネ！」を開催したが、地域内外から多くのご来場があり二胡の演奏やバイキング形式の料理等で参加者の交流も深められ大変有意義な時を過ごすことができ、地元住民の地域活性に向けての意識向上にも役立った。また嘉年地域づくり協議会で取り組んでいる「クルマ酒」の試飲も大変好評で良いPRとなった。また、地域住民からの要望で点灯期間を10日間延長した。 (評価) 地内外の方々と交流が持て、嘉年のイルミネーションや「クルマ酒」をPRすることもできて大変良かった。 (今後に向けて) 今後も続けてほしいという意見が多いことから協力団体を増やしつつ出来る限り続けていきたい。

事業名	嘉年ゆうすげフェスタ
事業費	148,241円
事業概要	(実施内容) 17:00～屋台オープン 受付でゆうすげ苗先着50名プレゼント 17:30～あとう夢語太鼓 演奏 18:00～長岡一座「どじょうすくい踊り」 「どじょうすくい踊り」コンテスト 参加人数 ちびっ子の部14 大人の部9人 合計23人 19:00～ニンニク・駄菓子まき 19:30～「嘉年土居神楽舞」演舞 21:00 終了 *キッチンカー来店 (実施時期) 令和5年7月16日(日) (参加人数) 約250人 (成果) コロナ禍の中準備の段階からスタッフ全員で健康に気をつけ当日も消毒等に気を付けた。。当日は晴天で、多くの嘉年地区内外の方々にご来場いただき笑顔が溢れ交流も深められ、ゆうすげやニンニク・嘉年米の良いPRにもなり目的が達成されたと思われる。 (評価) 今年は地元の NPO げんき嘉年からの支援もあり内容が充実できて良かった。地元の若者グループの積極的な協力があり大変良かった。 (今後に向けて) 今回の反省点をもとに内容や送迎タクシー等について意見集約し試行錯誤しながら今後も続けていきたい。
事業名	ふれあいマップ活用事業
事業費	13,000円
事業概要	(実施内容) ・「さともものがたり」と「おさんぽマップ」を活用して「嘉年おさんぽウォーキング」を実施した。嘉年地域づくり協議会副会長の佐々木繁氏にボランティアガイドをしていただきながらウォーキングを楽しんだ。また嘉年婦人会さんから「山賊おにぎり」等のおもてなしがあり、参加者の皆さんは大変喜ばれていた。またマップ活用について年3回会議を開いた。 (実施時期) 通年・(3月12日「嘉年おさんぽウォーキング」) (参加人員) 延べ31人 (成果) 冊子「さともものがたり」と「おさんぽマップ」は大変好評で、地域内外から問い合わせも多い。「嘉年おさんぽウォーキング」は少し天候不良だったが大変好評だった。 (評価) 「おさんぽウォーキング」は今後も継続していきたい。今後の活動について協議することができて良かった。 (今後に向けて) 冊子「さともものがたり」や「おさんぽマップ」を活用して多くの嘉年地域内外の方々に嘉年地域の魅力を発信していくとともに交流人口を増やしていきたい。

事業名	笑顔カフェ事業
事業費	29,367円
事業概要	(実施内容) ・「新春！かるた大会」 ・図書コーナーでの「笑顔カフェ」 (実施時期) かるた大会 令和6年2月4日(日)・笑顔カフェ 通年 (参加人数) 延べ約280人(かるた大会20人・カフェ利用数260人) (成果) この時期なかなか地域の住民同士の交流を持つことが難しいが、この日は久しぶりに集まって昔懐かしいかるたや花札をして大きな笑い声が飛び交いととても楽しい時間を過ごすことが出来た。 (評価) 初めての試みだったが、久しぶりに地域の皆さんの交流を深めることが出来て良かった。図書コーナーのカフェも少しずつ利用が増えてきた。 (今後に向けて) 「かるた大会」は大変好評だったので、今後も継続していきたい。 笑顔カフェの利用促進に向けて企画・立案等していく。
事業名	若者支援事業
事業費	45,100円
事業概要	(実施内容) ・7月16日の地元のイベントに出店し、イベントを盛り上げた。 ・11月25日・26日に、分館周辺をイルミネーションで飾り付けた。 ・12月9日イルミネーション点灯式&イルミネーションを見ようかいネ！」を実施した。 ・令和6年1月21・28日イルミネーション取り外し及び片付け作業をした。 (実施時期) 同上 (参加人数) 延べ100人 (成果) コロナ禍の影響で近年イベントが出来なかったが、今年久しぶりのイベント開催で地域を盛り上げることができた。 また、ユニホームが揃ったことで、メンバー全員着用することができ、一段と団結力が強まった。 (評価) イベントは地域住民の皆さんに大変好評だった。 若者の団結力と地域に対する意識向上にも繋がり大変良かった。 (今後に向けて) 今後もみんなで協力して地域の活性化に向けて頑張っていきたい。

事業名	クルミ事業
事業費	134,956円
	(実施内容) ・ 4月13日(木)部会議 ・ 4月17日(月)除草剤散布 ・ 5月18日(木)現地草刈り作業(草刈り機・モア他) ・ 5月25日(木)現地草刈り作業 ・ 6月25日(日)クルミ酒づくり講習会(参加者21人) ・ 8月27日(日)現地草刈り作業 ・ 9月11日(月)現地草刈り作業 ・ 11月19日(日)現地草刈り作業 ・ 12月 5日(火)旧中学校上クルミ畑草刈り作業 ・ 12月14日(木)研修会 - 講師 やまぐちシードル代表 - 原田 尚美様 ・ 令和6年 3月11日(月)現地堆肥まき・防草シート張り作業 (実施時期) 実施内容のとおり (参加人数) 延べ91人 (成果) ・ 6年目を迎えた事業だが、クルミの苗木も大きく成長し昨年からの収穫も出来るようになり、今後が楽しみである。 ・ クルミ酒が大変好評だったので、今後も講習会を実施していきたい。 (評価) ・ クルミ酒が大変好評で地域内外から問い合わせが多くなってきた。 ・ 防草シートを張ったことで景観が大変良くなった。 (今後に向けて) ・ 研修視察を実施し、事業の組織づくりや、商品開発等に取り組んでいきたい。

事業名	嘉年ふれあい運動会
事業費	52,398円
事業概要	（実施内容）運動会 （実施時期）10月15日（日）9：00～12：30 （参加人数）約90人 （成果） 走ることを目的とした競技を無くし、新しい競技や小さい子供さんでも参加できる競技も交え世代を超えての地域住民の交流の場となった。 （評価） 新しい競技にも積極的に参加され和やかに一日を過ごすことが出来た。 （今後に向けて） それぞれの種目に参加できるよう競技内容を検討する。

（３）安心・安全

事業名	除雪事業
事業費	24,625円
事業概要	（実施内容）・除雪サービスチラシ全戸配布（1月号） ・令和6年2月1日～令和7年2月1日までの保険加入。 ・令和5年12月21日 機械の点検をした。 機械故障のため修理依頼したが、なおらなかった。 （実施時期） 令和6年1月4日～3月末 （参加人数） 43人 （成果） 今年は雪が降ったが、それほど積もることがなかったので依頼がなかった。 （評価） 毎年、機械が故障するので、除雪事業について考えていかなければならない時期にきている。 （今後に向けて） 近年、雪も少なくなり除雪の依頼もない。機械の故障も多く維持費がかなりかかるのでこの事業を本年度で終了とする。

(4) 環境づくり

事業名	和田山・勝山城跡整備事業
事業費	62,735円
事業概要	(実施内容) 和田山の草刈り作業及びさくらの苗木の植栽。勝山城跡の調査及び整備。 (実施時期) 6月25日(日) 和田山の草刈り作業 10月22日(日) 和田山の草刈り作業 3月14日(木) さくら植樹事前準備 3月27日(水) さくら植樹・勝山城跡調査・草刈り作業 (参加人数) 延べ43人 (成果) 公園全般の繁茂した草等を刈り払うことにより良い環境が保たれる。新たに苗木を植えることで将来のより良い景観に繋がる。 また勝山城跡の調査及び入口の草刈り作業が少しだが、できたので良かった。 (評価) 公園の保全美化に役立っている。 地域住民の郷土愛を育むことにつながっている。 (今後に向けて) 草等の刈り払いについては、勾配が急な所が多く高齢者には無理がある。若者の参加を進めていく必要がある。今後も苗木を植えていく。また、勝山城跡への登山道の整備を継続していく。

(5) 地域個性創出

事業名	神楽舞の保存・活用事業
事業費	30,000円
事業概要	(実施内容) 6月10日 Café Brass 神楽講演会 7月16日 嘉年ゆうすげフェスタ 20日 日本食品衛生協会中四国ブロック大会 22日 秋吉台ジオフェス 8月15日 徳佐夏祭り 9月 3日 問田自治会敬老会 9月10日 なんでもマルシェ 10月 1日 徳佐八幡宮秋季大祭 10月 2日 嘉年八幡宮秋季大祭 10月14日 赤田神社秋季大祭 前夜祭 10月15日 赤田神社秋季大祭・山口市芸能フェスタ 11月 3日 豊田神社秋季大祭 11月12日 阿東文化祭 11月17日 湯田温泉旅館組合インバウンド対策公演 11月23日 どうもん恵比寿祭り 12月 2日 湯田温泉旅館組合インバウンド対策公演 12月13日 湯田温泉旅館組合インバウンド対策公演 1月26日 山口コンベンション協会 (実施時期) 実施内容と同じ (参加人数) 延べ155人 (成果) 一人一人がそれぞれの立場を自覚し、日々の練習に取り組んだ。 チームワークがよくとれるようになり、だんだんと良い演技が出来るようになった。今後も皆様に喜ばれる神楽舞をお見せ出来るように努める。 (評価) どこの地域でも迫力ある演舞は好評であった。 (今後に向けて) 「嘉年神楽舞保存会」は今後も練習を重ね、県内外で公演を行い、伝統芸能を広めていくとともに、次世代の育成にも力をいれていき、神楽舞の保存・継続はもとより、嘉年地域の活性化に繋がる活動を目指していく。

(6) 自主防災

事業名	自主防災事業
事業費	8,896円
事業概要	(実施内容) ・連絡訓練 令和6年2月6日 10:01発 ①のライン→10:14着(8人) 10:02発 ②のライン→10:26着(8人) ・「防災講座」令和6年2月21日(水) 10:00～(参加者25人) ・地震と避難についての講話及び避難所点検 講師 佐々木 繁氏(嘉年地域づくり協議会副会長・元嘉年分館長) ・通報訓練・避難訓練・消火訓練 講師 阿東消防署職員 (実施時期) 令和6年2月6日(火)・2月21日(水) (参加人数) 延べ41人 (成果) ・自治会長による連絡訓練は防災講座の開催について伝達したが、昨年よりは早く伝わって良かった。 ・防災講座では、地元の佐々木繁氏(元嘉年分館長)に地震や避難についての講話をしていただき、その後、避難所グッズ(アルミベッド・ワンタッチパーテーション・エアーマット・携帯トイレ・災害備蓄品等)の点検、確認作業をしたが使用方法や組み立て方などが確認出来て大変良かった。 また実際に消火器を使用したり、地震と火災の場合の避難の仕方等ご指導いただき、参加者からは質問もたくさん出ていて、防災意識の向上に役立てることが出来た。 (評価) 地域住民の防災意識の向上に役立った。 (今後に向けて) 今後も防災啓発活動を継続して行い、防災意識の向上に役立てたい。